

第2回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会

日 時：平成27年 8月24日（月）10:00～15:00

会 場：福島県相馬市

相馬市中央公民館 1階会議室

次 第

【現地視察】10:00～12:10

相馬市内（相馬港、相馬福島道路 等）

～ 昼食 ～

【懇談会】13:00～15:00

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
 - （1）国道115号相馬福島道路の進捗状況と整備効果等
 - （2）利活用方策等の発表
 - （3）意見交換
4. その他
5. 閉会

第1回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 委員一覧

代理出席

1	会長	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長	永尾 慎一郎	
2	副会長	国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所長	坂井 康一	
3	副会長	国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所長	木本 仁	
4	委員	福島県 商工労働部 部参事兼商工総務課長	五十嵐 明	主任主査 桑折千秋
5	委員	福島県 観光交流局 観光交流課長	吾妻 嘉博	欠席
6	委員	福島県 土木部次長（道路担当）	佐藤 岩男	
7	委員	福島県 県北地方振興局 次長	渡部 美香	
8	委員	福島県 相双地方振興局 次長兼企画商工部長	中高 克郎	副部長 高橋英子
9	委員	福島県 県北建設事務所長	柳沼 政明	
10	委員	福島県 相双建設事務所長	浦山 悦雄	
11	委員	福島県 相馬港湾建設事務所長	宗像 良夫	
12	委員	福島市 商工観光部長	若月 勉	次長 阿部雅弘
13	委員	福島市 建設部長	鈴木 信良	
14	委員	相馬市 産業部長	宇佐見 清	欠席
15	委員	相馬市 建設部長	中西 健一郎	
16	委員	伊達市 産業部長	菅野 康弘	
17	委員	伊達市 建設部長	佐藤 博史	
18	委員	桑折町 産業振興課長	鈴木 日出夫	欠席
19	委員	桑折町 地域整備課長	増田 達也	土地開発係長 幕田将則
20	委員	新地町 企画振興課長	泉田 晴平	
21	委員	新地町 建設課長	渡辺 祐吉	
22	委員	福島商工会議所 専務理事	石井 浩	
23	委員	相馬商工会議所 専務理事	和田山 雄康	
24	委員	桑折町商工会 会長	渋谷 浩一	
25	委員	伊達市商工会 会長	渡邊 武	
26	委員	保原町商工会 副会長	渡辺 英人	事務局長 大槻喜健
27	委員	飯坂町商工会 副会長	高橋 義博	
28	委員	新地町商工会 副会長	渡部 和志	欠席
29	委員	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所長	渡邊 正彦	
30	委員	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所長	小池 敏樹	副所長 内藤 英昭
	オブザーバー	協三工業株式会社 生産部長	片平 貴之	

敬称略

第2回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 座席表

福島県 商工総務課 課長
 東北地方整備局 磐城国道事務所 所長
 福島河川国道事務所 所長
 東北地方整備局 小名浜港湾事務所 所長
 福島県 土木部 次長

福島県 県北地方振興局 次長 福島県 相双地方振興局 次長兼企画商工部長 福島市 商工観光部長 福島市 建設部長 伊達市 産業部長 伊達市 建設部長 桑折町 地域整備課 課長 協三工業株式会社 生産部長	福島県 県北建設事務所 所長 福島県 相双建設事務所 所長 福島県 相馬港湾建設事務所 所長 相馬市 建設部長 新地町 企画振興課 課長 新地町 建設課 課長 相馬商工会議所 専務理事 東日本高速道路(株) 福島管理事務所 所長
--	---

随行者席

随行者席

福島商工会議所 専務理事
 桑折町商工会 会長
 伊達市商工会 会長
 保原町商工会 副会長
 飯坂町商工会 副会長
 東日本高速道路(株) いわき管理事務所 所長

報道関係者席



報道関係者席



事務局



事務局



出入口

出入口

受付

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 設立趣意書

国道115号相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路であり、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして早期完成を目指し、整備が進められています。

東日本大震災により深刻な打撃を受けた地域経済の持続的成長を実現し、経済再生を図るためには、民間投資を喚起する成長戦略が必要となっています。その中で、福島県北地域の沿岸部と内陸部の連携を強化する新たな広域ネットワークを構築する本道路の整備によってもたらされる立地競争力の強化や、民間投資の誘発による需要の拡大などのストック効果は、大きな役割を果たすことが期待されます。

このため、本道路のストック効果が最大限発揮できるよう、事業の進捗状況を関係者間でこれまで以上に共有すると共に、本道路を最大限に活用するための経済・観光振興等の取り組みについて、関係者が一体となって議論することを目的に、国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会を設立するものです。

国道 115 号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 規約

(名称)

第 1 条 この懇談会は、国道 115 号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会（以下、「懇談会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 懇談会は、国道 115 号相馬福島道路のストック効果が最大限発揮できるよう、事業の進捗状況に関係者間でこれまで以上に共有すると共に、本道路を最大限に活用するための経済・観光振興等の取り組みについて、関係者が一体となって議論することを目的とする。

(組織)

第 3 条 懇談会は、別表 1 に掲げる機関並びに職にあるものをもって構成する。

- 二 構成機関並びに構成員は、必要に応じ会長が発議し、審議を以って変更できる。
- 三 懇談会は、必要に応じてオブザーバーを置くことができる。
- 四 懇談会は、必要に応じて作業部会を設置することができる。

(役員)

第 4 条 懇談会に次の役員を置く。

- (1) 会長は、東北地方整備局福島河川国道事務所長とする。
- (2) 副会長は、東北地方整備局磐城国道事務所長及び小名浜港湾事務所長とする。

(懇談会)

第 5 条 懇談会は、必要に応じ会長が召集し、国道 115 号相馬福島道路における次の事項について共有・議論を行う。

- (1) 進捗状況等
- (2) 利活用に関する意見および利活用方法
- (3) 地域向けの情報発信方法
- (4) その他、必要な事項に関すること

(事務局)

第 6 条 懇談会の事務局は、東北地方整備局福島河川国道事務所調査第二課・磐城国道事務所調査課・小名浜港湾事務所企画調整課に置くものとし、事務局長は、東北地方整備局福島河川国道事務所副所長（道路）とする。

(雑則)

第7条 本規約に定めるもののほか、懇談会の運営に関して必要な事項は会長が定める。

附則 この規約は、平成27年3月26日から施行する。

国道 115 号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会

構成機関

国土交通省 東北地方整備局

福島河川国道事務所、磐城国道事務所、小名浜港湾事務所

福島県

福島市、相馬市、伊達市、桑折町、新地町

福島商工会議所、相馬商工会議所

桑折町商工会、伊達市商工会、保原町商工会、飯坂町商工会、新地町商工会

東日本高速道路株式会社 東北支社

福島管理事務所、いわき管理事務所

委 員

会 長：東北地方整備局 福島河川国道事務所長

副会長：東北地方整備局 磐城国道事務所長、小名浜港湾事務所長

委 員：福島県 商工労働部 商工総務課長、観光交流局 観光交流課長

土木部次長（道路担当）

県北地方振興局 次長、相双地方振興局 次長兼企画商工部長

県北建設事務所長、相双建設事務所長

相馬港湾建設事務所長、

福島市 商工観光部長、建設部長

相馬市 産業部長、建設部長

伊達市 産業部長、建設部長

桑折町 産業振興課長、地域整備課長

新地町 企画振興課長、建設課長

福島商工会議所 専務理事

相馬商工会議所 専務理事

桑折町商工会 副会長

伊達市商工会 会長

保原町商工会 副会長

飯坂町商工会 副会長

新地町商工会 副会長

東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所長

東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所長

敬称略

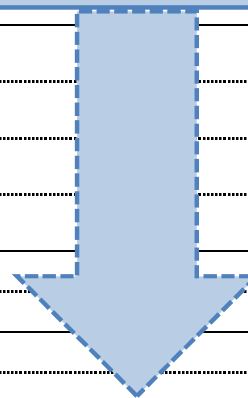
事務局長：東北地方整備局 福島河川国道事務所副所長（道路）

事務局：福島河川国道事務所 調査第二課、磐城国道事務所 調査課

小名浜港湾事務所 企画調整課

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 今後の展開

年度	開通目標	事 項
H26		<p>第1回懇談会[H27.3.26] (事業概要及び整備効果の説明)</p>
H27		<p>各自治体による利活用・整備効果に関するとりまとめ (各企業や利用者団体へのヒアリングを実施等)</p> <p>第2回懇談会[H27.8.24] (現地視察+県・各市町からの利活用等のプレゼン)</p> <p>第3回懇談会 (現地視察+県・各市町からの利活用等のプレゼン+オブ参加)</p>
H28	<p>東北中央自動車道 (福島～大笹生) 阿武隈東道路 開通目標</p>	<p>懇談会メンバー、企業等による現地視察 (相馬港や工事現場 等を予定)</p> <p>懇談会 (各自治体の利活用方針等について)</p>
H29	<p>東北中央自動車道 (大笹生～米沢) 阿武隈東～阿武隈 霊山道路 開通目標</p>	
H30	相馬西道路 開通目標	
H31以降		





相馬福島道路 事業状況及び整備効果等

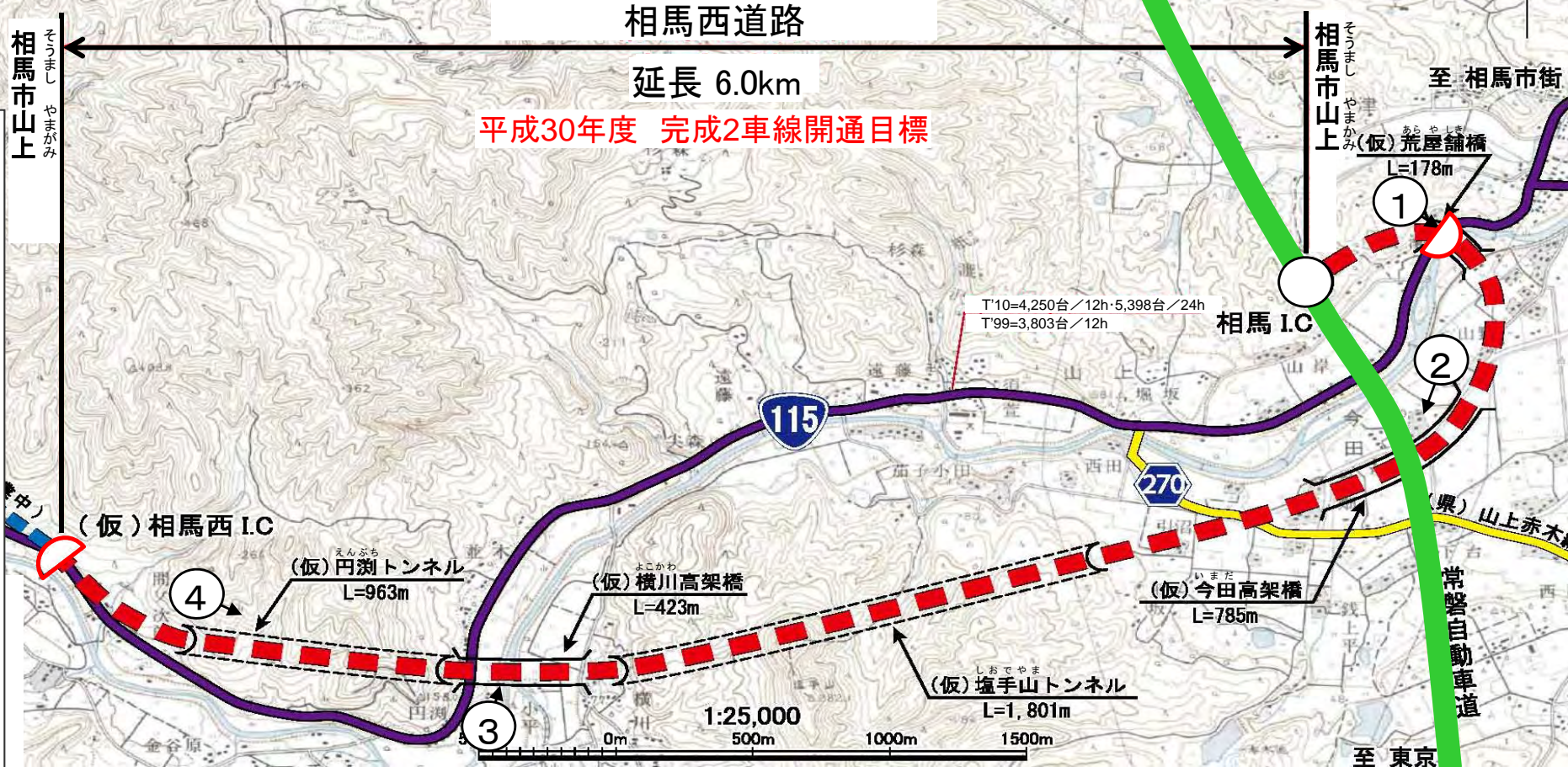
平成27年 8月24日

国土交通省 東北地方整備局

福島河川国道事務所・磐城国道事務所

① 相馬西道路 進捗状況

(平成27年6月現在)



【事業経緯】
H23事業着手
H24用地着手
H24工事着手
H30開通目標

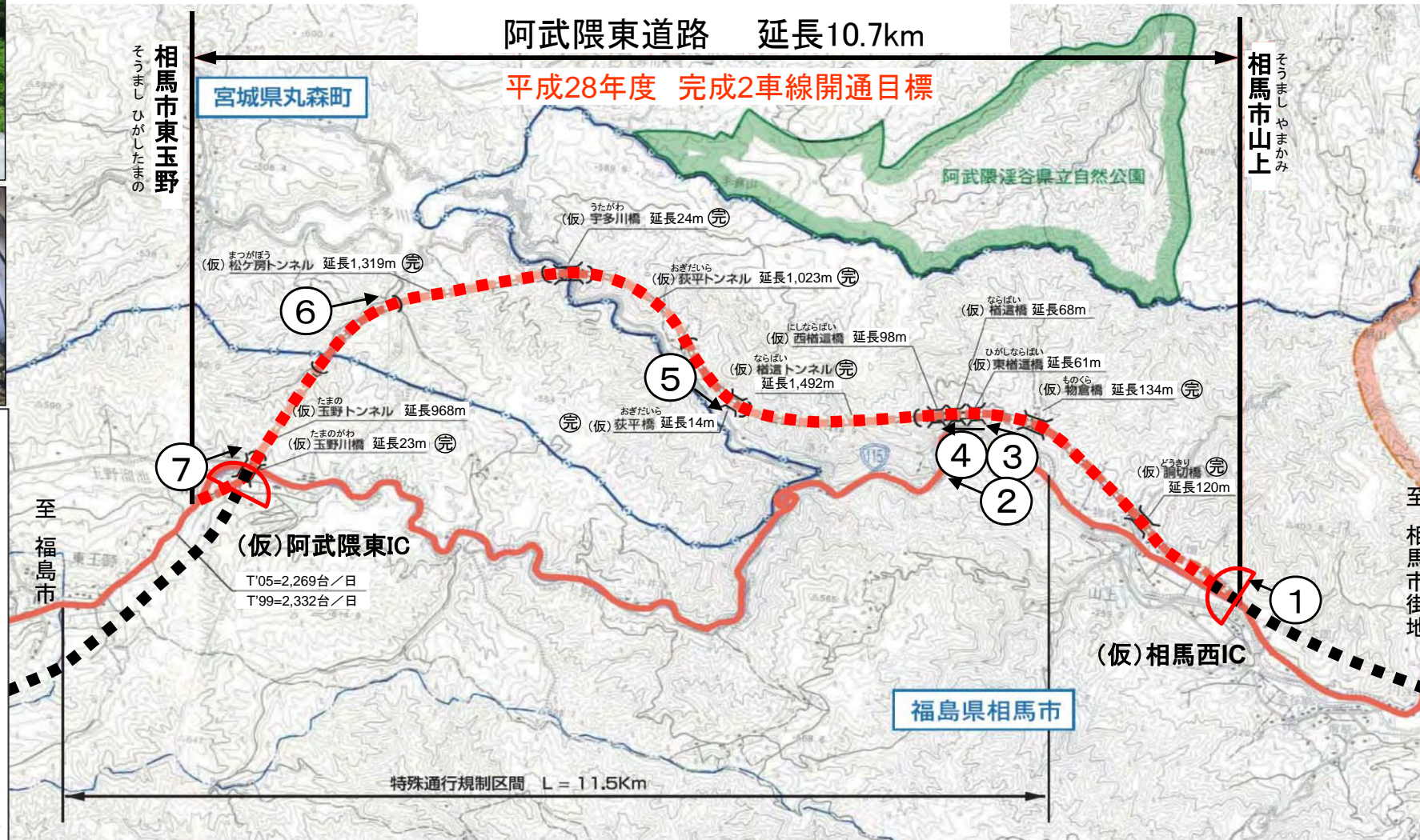
【事業費】
全体事業費 220億円
H27当初 59.0億円

【進捗状況】
用地進捗率 約99%
(H27.3.31時点)
事業進捗率 約37%
(H27.3.31時点)

【H27年度事業内容】
・荒屋舗橋、今田高架橋、
塩手山トンネル、横川高架
橋、円渚トンネルに着手中

あぶくまひがし ②阿武隈東道路 進捗状況

(平成27年6月現在)



【事業経緯】
H16事業着手
H18用地着手
H19工事着手
H28開通目標

【事業費】
全体事業費 370億円
H27当初 8.2億円

【進捗状況】
用地進捗率 100%
(H27.3.31時点)
事業進捗率 約95%
(H27.3.31時点)

【H27年度事業内容】
・東橋道橋、橋道橋、西橋道橋、玉野トンネルに着手中

あぶくまひがし あぶくま ③阿武隈東～阿武隈 進捗状況

(平成27年6月現在)



あぶくまひがし
阿武隈東IC周辺



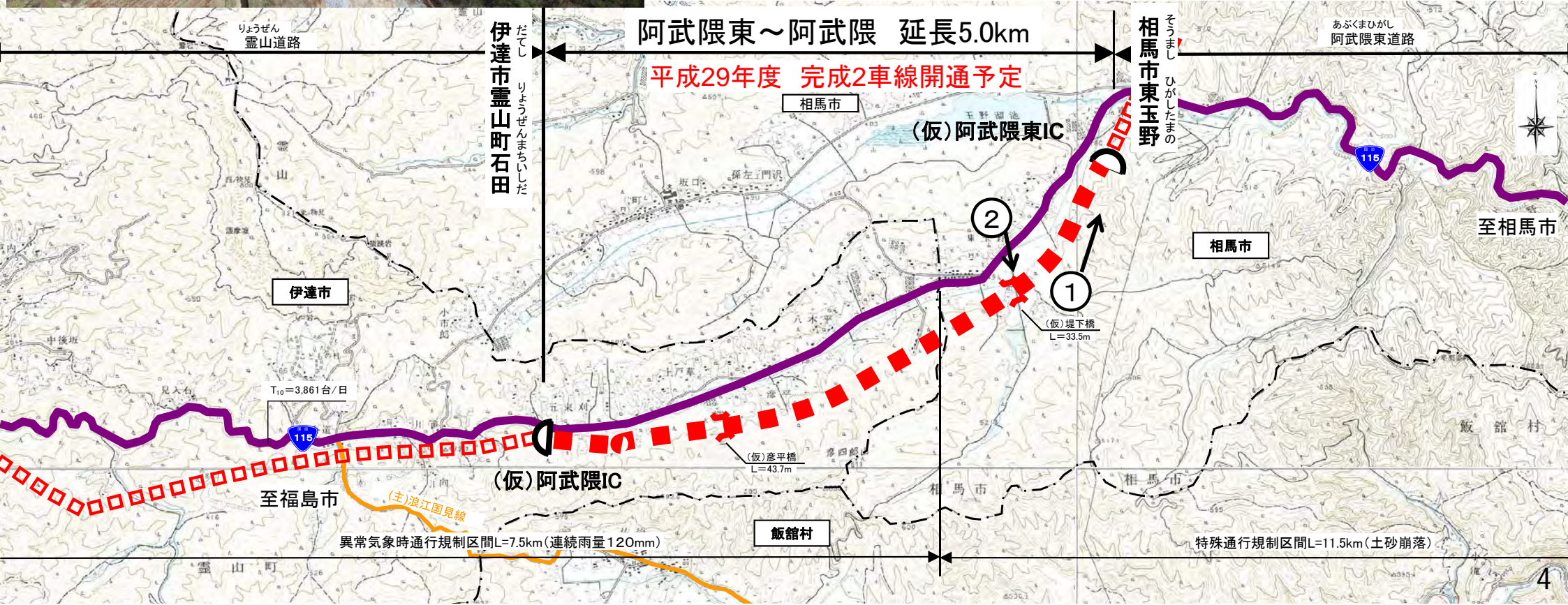
② つつみした
堤下橋

【事業経緯】
 H23事業着手、H23用地着手
 H25工事着手、**H29開通目標**

【事業費】
 全体事業費 150億円、H27当初 10.4億円

【進捗状況】
 用地進捗率 約97% (H27.3.31時点)
 事業進捗率 約61% (H27.3.31時点)

【H27年度事業内容】
 改良工事推進
 堤下橋を工事中
 彦平橋の工事に着手予定



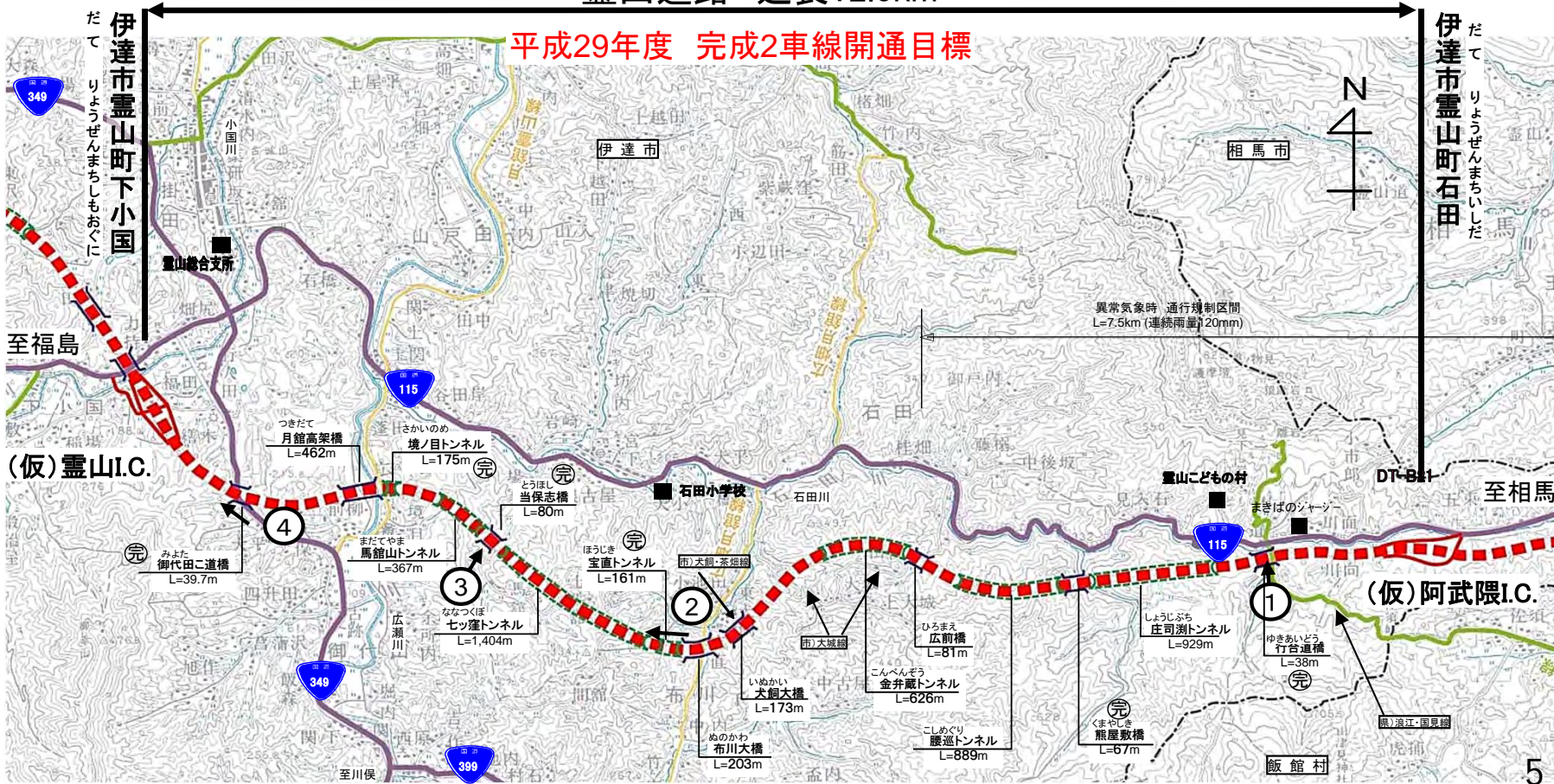
りょうぜん ④ 霊山道路 進捗状況

(平成27年6月現在)



りょうぜん 霊山道路 延長12.0km

平成29年度 完成2車線開通目標



【事業経緯】
 H20事業着手
 H22用地着手
 H24工事着手
H29開通目標

【事業費】
 全体事業費 332億円
 H27当初 61.6億円

【進捗状況】
 用地進捗率 約99%
 (H27.3.31時点)
 事業進捗率 約70%
 (H27.3.31時点)

【H27年度事業内容】
 ・月館高架橋ほか3橋工事中
 ・セツ窪トンネル他4トンネルを工事中

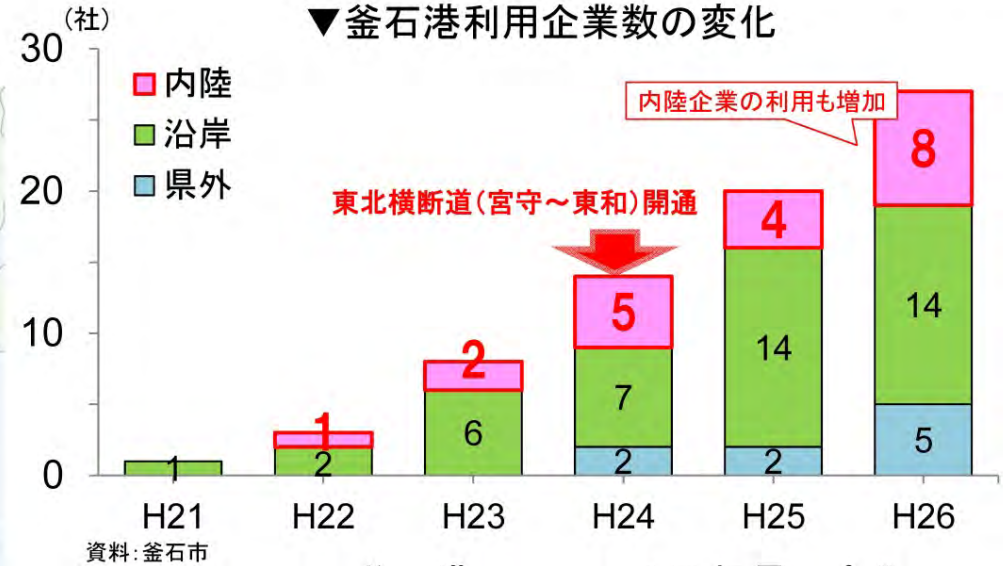
【他地域の事例】 沿岸と内陸地域の連携強化で産業の活性化を支援

- 「釜石港」は、重要港湾として平成23年度内航フィーダーコンテナ定期航路が開設
- 平成24年度横断道の供用により釜石港の利用企業数、コンテナ取扱い量が大幅増加
- 横断道の全線開通により、釜石港と内陸部の一層の連携強化を図り、産業・経済の活性化を支援

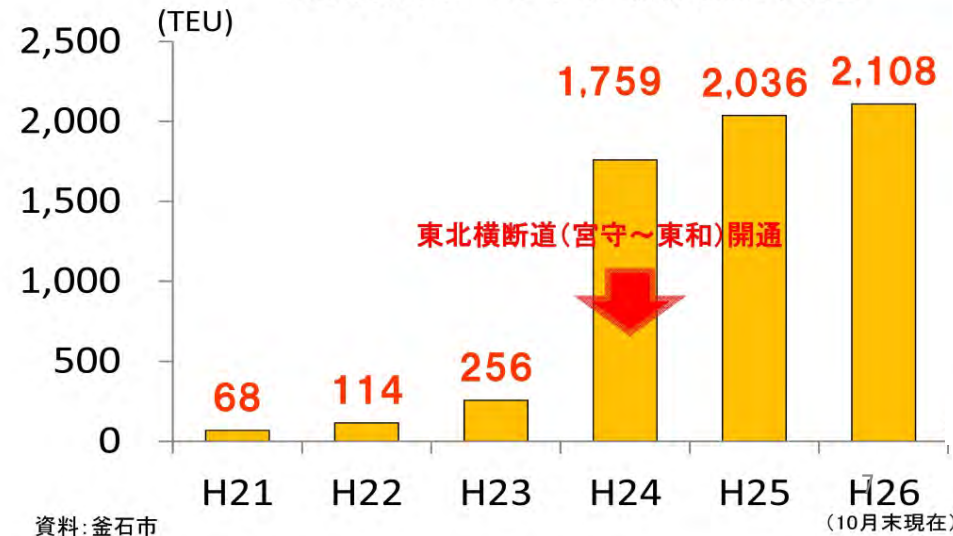
▼釜石港利用物流ルート事例



▼釜石港利用企業数の変化



▼釜石港のコンテナ取扱量の変化



復興道路・復興支援道路の整備がフェリー航路開設検討につながる

- ◎宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路開設の検討がされており、実現すれば岩手県初の運航。
- ◎三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。



【航路検討概要】 (川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

- 開設時期 平成30年 春(予定)
- 選定理由

- ①急ピッチで進められている 復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
- ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
- ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
- ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい

《岩手県知事の声》

◆物流環境の改善や観光振興等に大きいインパクトを与えるものと認識。沿岸地域の本格復興に生かすためにも、復興道路等の整備促進を国に働きかける。

《宮古市長の声》

◆カーフェリー航路の開設、復興道路等の整備により交流圏が広がり、復興に弾みがつくものと期待。復興道路等整備の推進と併せて、航路の実現に必要な取り組みを県と連携して進める。

(岩手県プレスリリース・宮古市プレスリリースより抜粋)

十勝の産業を支える交通基盤 生乳生産量が増えた！



帯広・広尾自動車道・十勝港(北海道)

before >>> after

帯広圏及び南十勝における食料品製造業の立地



十勝港の整備により、物流の効率化、飼料工場等が立地、飼料取扱量が増加

帯広・広尾自動車道により、沿線では乳製品などの工場立地、付加価値が高い加工食品が生産され、食料品出荷額も増加

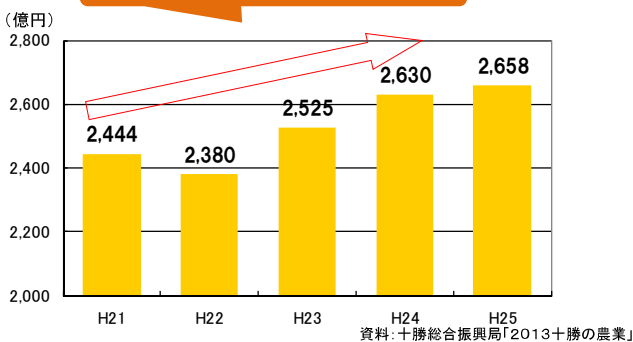
農業基盤整備や治水事業の進捗により、酪農王国十勝では、生乳の生産量が増加し、平成25年に過去最高の生産量を記録

十勝の生乳生産量は、7年連続で増加
酪農・畜産業に必要な飼料について、十勝港での取扱量がH25/H20比で約4倍に増加

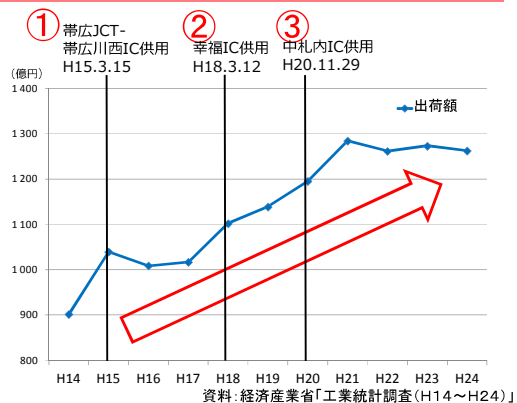
- 高規格道路 H13年度まで開通
- H26年度まで開通
- ★ 主な食料品関係加工工場 (H25年までに稼働・増設等)
- ★ 主な食料品関係加工工場 (一部H13年までに増設等)

十勝の農業産出額(JA取扱高)の推移

十勝の農業算出額は増加傾向



十勝食料品製造業出荷額の推移



ストック効果

震災からの復興 東北の完成自動車積出拠点



仙台塩釜港・大衡IC(宮城県)

● before >>> ● after

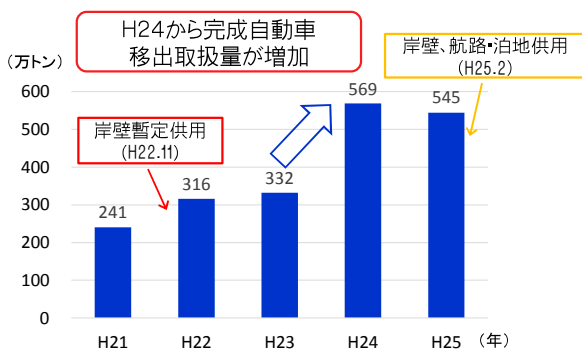


自動車メーカーの操業開始に併せ、大衡ICを整備、仙台塩釜港の自動車の取扱能力を年間38万台から60万台に強化(水深7.5m→水深9mなど)

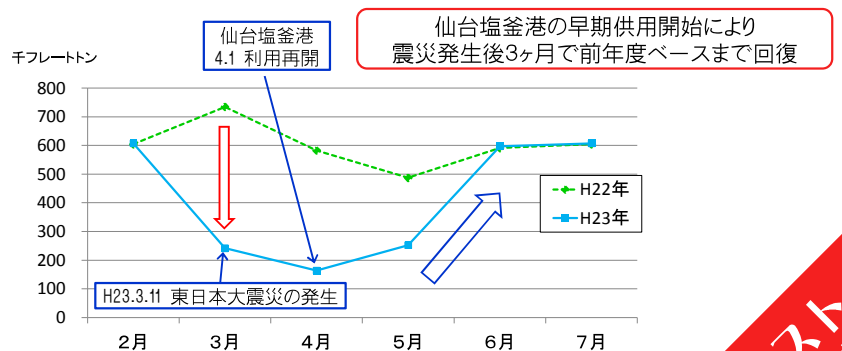
併せて、仙台北部道路など機能的な物流インフラの存在や宮城県の企業誘致により、企業の投資を実現

東日本大震災後、仙台塩釜港の早期利用再開などにより、自動車メーカーの生産活動の回復を後押し

完成自動車移出取扱量



仙台塩釜港(仙台港区) 完成自動車取扱の推移



ストック効果

高速道路と港の整備で 都市鉱山を発掘！



秋田港・東北自動車道(秋田県)

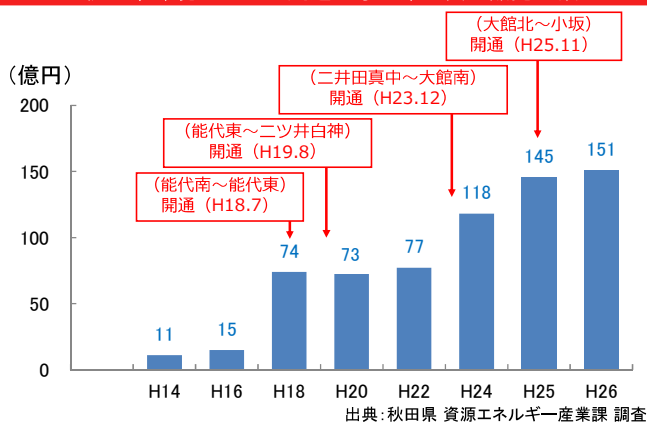
● before >>> ● after



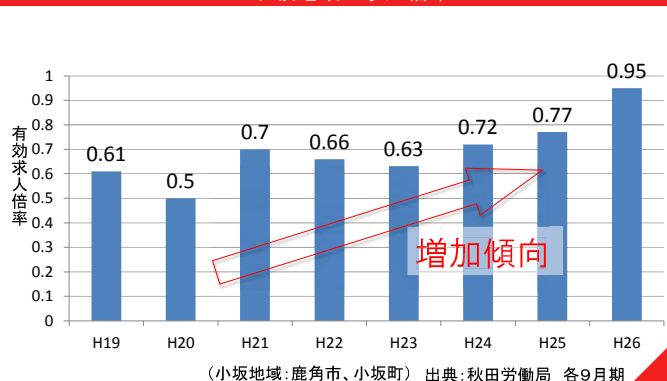
- 高速道路の整備とコンテナターミナル移転拡張による連携強化により、**県内企業のネットワークを推進**
- 小坂地区では鉱山運営で培った高い製錬技術により**輸入廃棄物よりレアメタルを抽出、自給率を向上**
- 県内リサイクル関連企業の**売上額増加、有効求人倍率改善**



秋田県環境リサイクル関連対象企業の製造品売上額



小坂地域の求人倍率



ストック効果

高速道路で 海なし県も港へ直結！



真岡IC周辺



北関東自動車道・茨城港 (茨城県・群馬県・栃木県)

茨城港 常陸那珂港区

● before
▶▶▶ ● after



1 全線開通により、北関東3県(茨城、群馬、栃木)のアクセス性が向上

1 北関東3県では、企業立地数が堅調に増加。物流ルートの変化も見られ、茨城港の貨物量も大きく増加

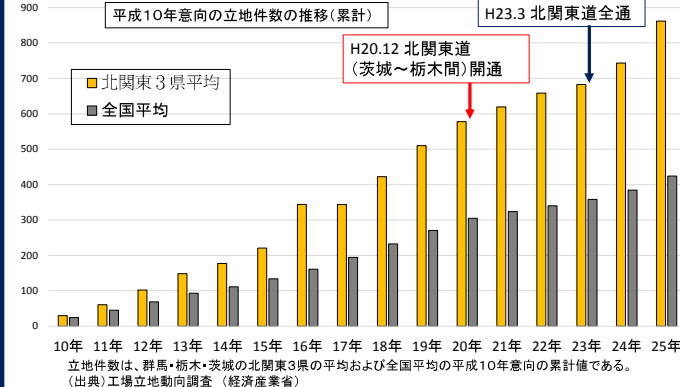
日産自動車栃木工場では、横浜・横須賀港から輸出していた北米向け乗用車17万台の内6万台を、平成22年5月から北関に運搬ルートを変更し、茨城港日立港区からの輸出を開始しました。

小山から茨城への輸送が『北関』により大幅に時間短縮され、これまでの1往復/日に対し、2~3往復/日が可能となり効率アップにつながっています。(メーカー系物流子会社)

北関東3県の工業立地の推移

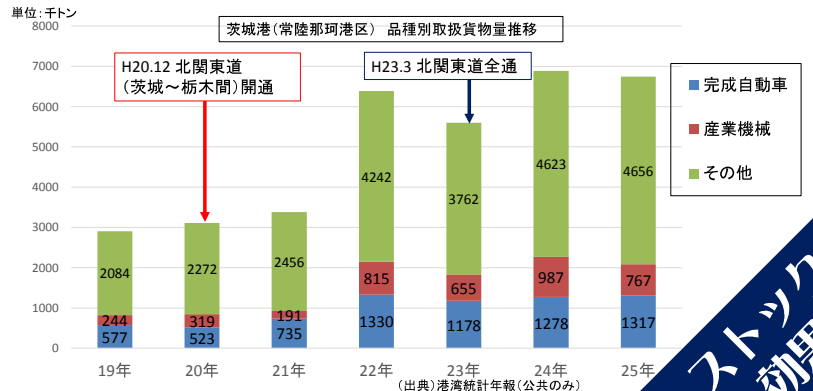
2013年工場立地件数において、北関東3県は上位に位置しています。

【1位】茨城県、【2位】群馬県、【5位】栃木県



茨城港へのアクセス性の向上による出荷量の増加

当該港区は、公共岸壁において完成自動車(28%)、産業機械(17%)の取扱いが全体の45%を占めており、近年、完成自動車・産業機械の取扱量が増加している。



ストロウ効果

1日2往復が3往復に トラック人材不足に備える！



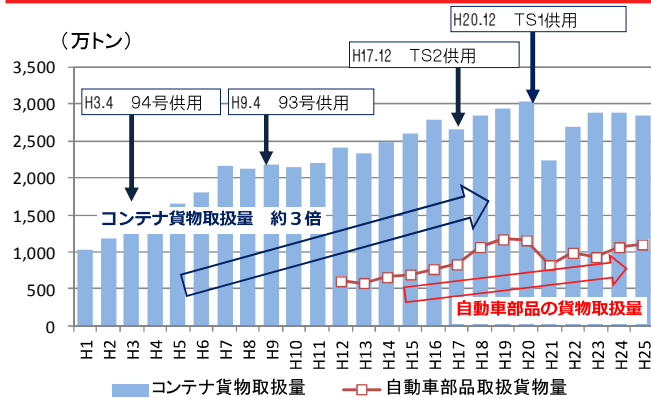
名古屋港・名古屋環状2号線(愛知県)

● before >>> ● after



- 名古屋港飛島ふ頭のコンテナターミナル整備により、海外向け自動車部品等のコンテナ貨物取扱量は約20年で約3倍に増加。
- 名古屋環状2号線の整備により、小牧市～飛島ふ頭間の物流の回旋数が増加(1日2往復→3往復)と物流効率化(企業ヒアリングより)。

飛島ふ頭のコンテナ貨物取扱量の推移



民間活力との連携

民間活力と連携し最先端機材を導入・物流効率の更なる向上を図る



ストック効果

道路ができた！ 企業も成長！



北勢バイパス・四日市港(三重県)

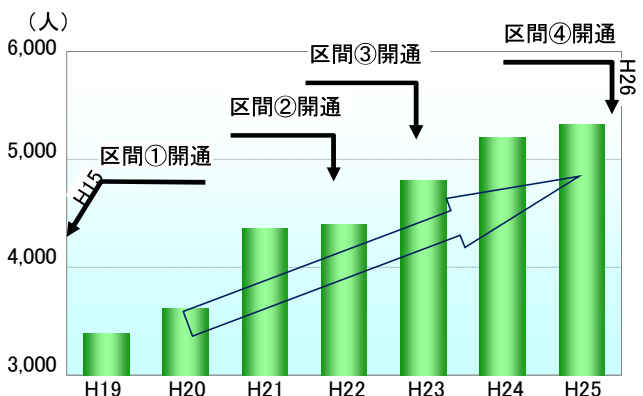
〈立地例〉 東芝四日市工場(第5棟) 竣工:平成26年9月

before after



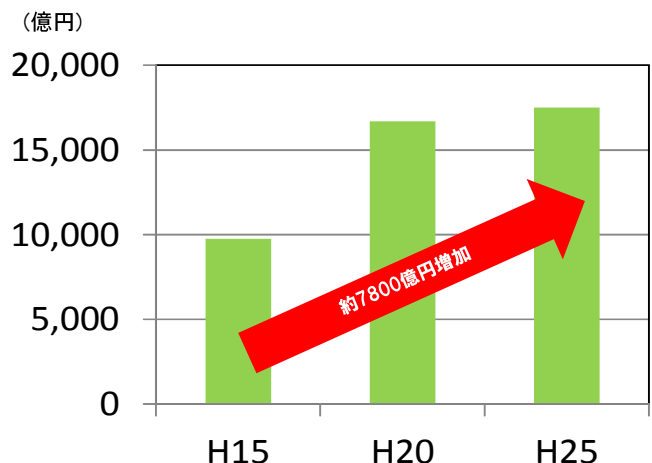
- 北勢バイパスの整備と合わせて半導体産業などの東芝が、**大胆な設備投資**、それによって**新たな雇用**が創出
- 国際競争を勝ち抜く努力を続ける企業を、北勢バイパス・四日市港の整備によって**支援**
- 四日市市基礎素材型産業が**中部・近畿圏でナンバーワン**

東芝(四日市工場)従業員数の推移と北勢バイパスの整備経緯



※出典:(株)東芝「有価証券報告書」より抜粋

四日市市における基礎素材型産業の製造品出荷額等の推移



※出典:三重県工業統計調査

ストック効果

高速道路がつながって 海の京都に変身中！

舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道 京都舞鶴港(京都府)

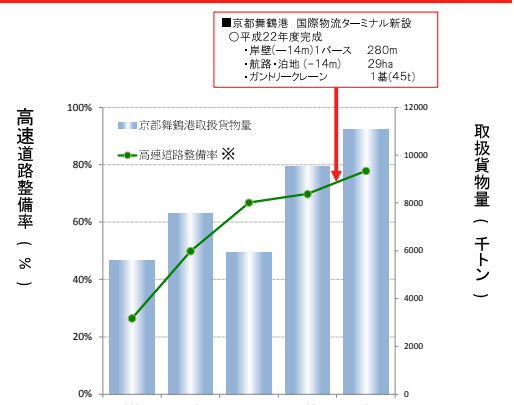
● before >>> ● after

舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道や京都舞鶴港の整備に伴い、京都北中部の工場取得件数が増加

物流ネットワークの強化により、京都舞鶴港の取扱貨物量が557万トン(S63)から1,108万トン(H25)に倍増



京都舞鶴港の取扱貨物量が約2倍に増加



全国に地域の魅力を発信 海の京都博 が開催！！

海の京都博とは・・・

京都府北部7市町(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)において、2015年7月18日(土)から11月15日(日)まで開催、地域全体の力を結集し、歴史・文化、海の魅力、まちの魅力、農林水産物等の自然の恵みなどを旅の楽しみとして全国に発信するイベントです。

注) 工場立地件数は1,000㎡以上の工場用地の取得件数(研究所含む)
※高速道路整備延長: 京都縦貫自動車道及び舞鶴若狭自動車道の累計整備延長
京都北中部: 亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市、舞鶴市、京丹後市、宮津市、伊根町、与謝野町

ストック効果

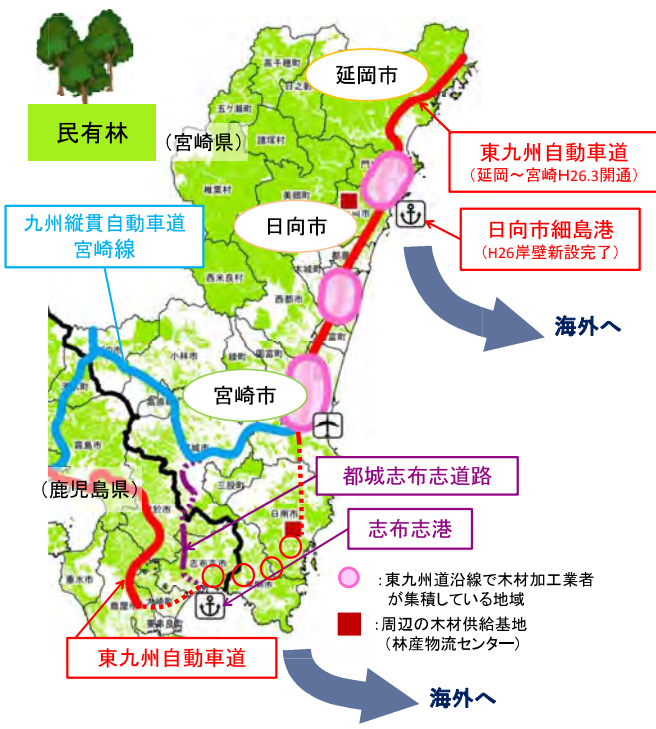
林業再生！

つなぐ、ひろがる、輸出商機！

細島港・東九州自動車道・志布志港・都城志布志道路(宮崎県・鹿児島県)

Before

After



- 細島港や東九州自動車道整備の進展により、大手製材メーカーが進出
- 地域の木材を輸出する新規ビジネスにより国産材輸出量が急増し、林業が再生
- 経済成長の続く中国をはじめとしたアジア諸国の需要拡大を受け、木材の産地に近い南九州の主要港から輸出が急激に増加

木材を港湾から海外(中国、台湾等)に輸出！！

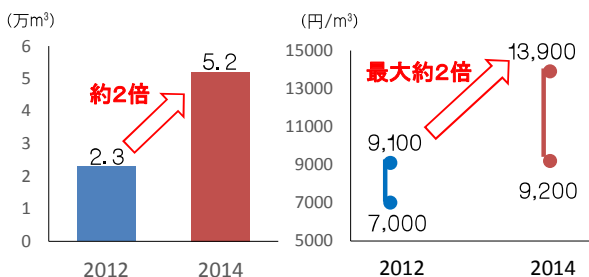


地域の木材が輸出産業化

直近10年間の細島港周辺の経済効果

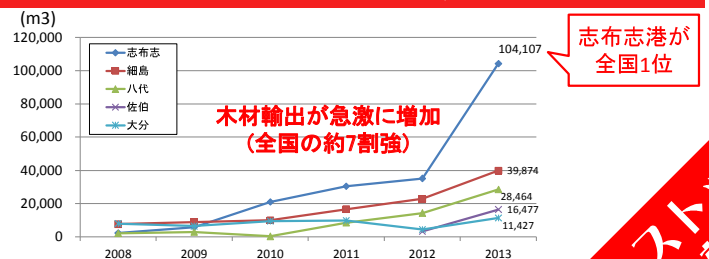
企業立地	設備投資	貿易額
39件	約740億円	約2倍増

■ 木材輸出量増加 ■ 木材価格の上昇(宮崎県:スギ)



国産材輸出により林業再生、雇用増加

九州主要港の木材輸出の推移



ストック効果

第2回 国道115号相馬福島道路
道路整備に関する懇談会

相馬福島道路の利活用の方策について



平成27年8月24日
福島県

【政策①】 避難者支援（被災地と避難先の往来円滑化）

- 福島県の沿岸市町村では、東日本大震災および原子力災害により、未だ10万人を超える県民が県内外に避難している。
- 県外避難者では、関東地方や山形県・新潟県など日本海側の隣接県への避難者が多い。このことから、相双地方から日本海側を結ぶ連携が不可欠となり、地域コミュニティの維持にも相馬福島道路が果たす役割が大きいものとなる。
- 県内各地で復興公営住宅の整備が進められており、その整備に遅れることなく、沿岸部と内陸部の道路網を強化して、被災者支援を行うことが重要となる。

1. 避難者の状況

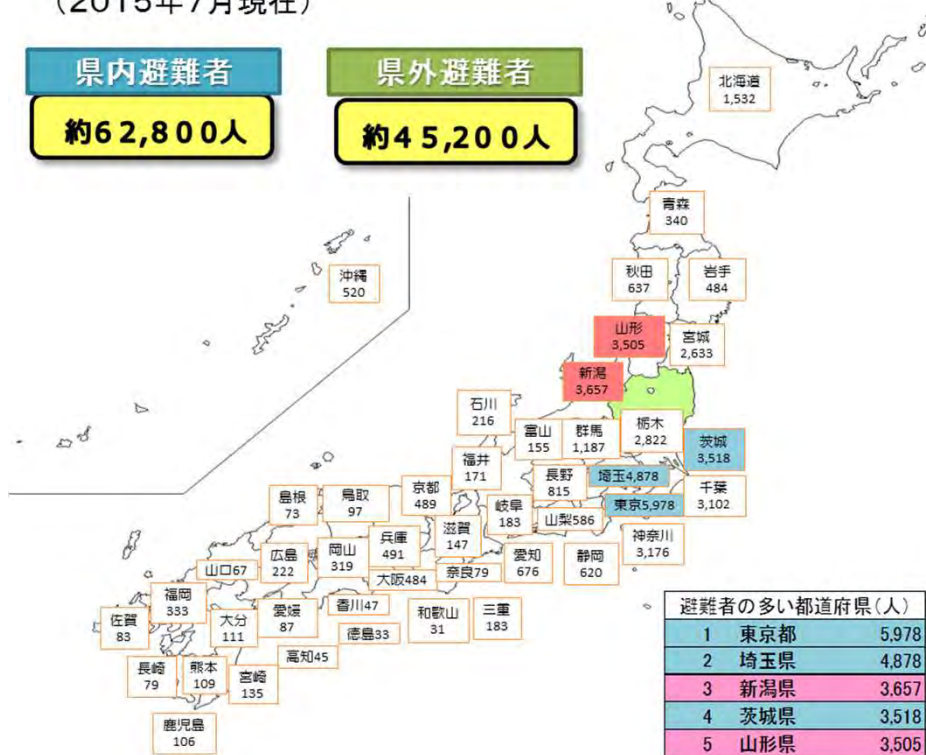
(2015年7月現在)

県内避難者

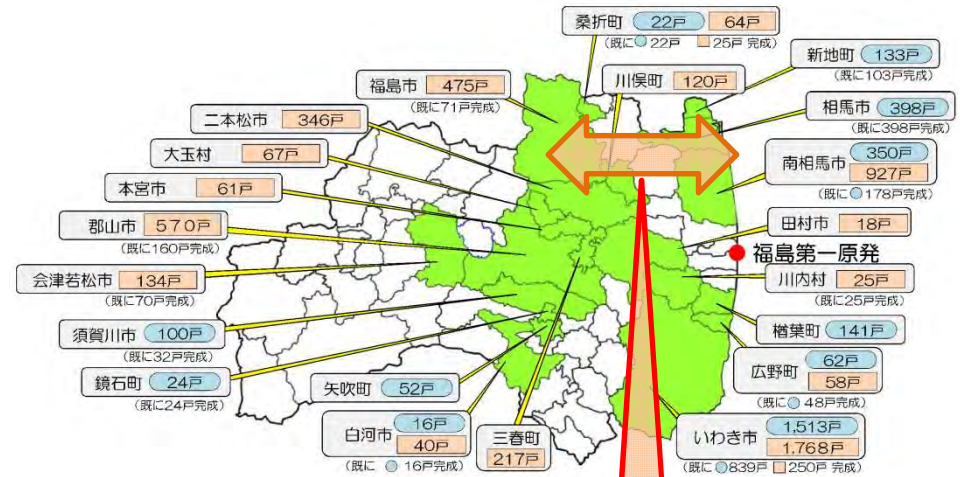
約62,800人

県外避難者

約45,200人



2. 復興公営住宅の整備状況



沿岸部と内陸部の往来が増加
⇒道路網強化による支援

復興公営住宅の種類	整備予定	地図での標記	完成戸数 (平成27年6月末)
地震・津波被災者向け	11市町村で 2,811戸を整備		1,660戸
原発被災者向け	全体で 4,890戸を整備		601戸

【政策②】 沿岸部と内陸部の物流強化

- 相馬港では、試験操業対象種が増加し、水揚げされた水産物は中通り方面にも出荷され、道路網の強化により水産物の鮮度向上に繋がるなど、漁業再興にも寄与することが期待されている。
- 相馬福島道路の整備により、道路網が強化され、円滑な物流を確保することにより、県北地方・相双地方への更なる企業の立地促進が期待される。

1. 水産関連施設等の復旧

◆沿岸漁業の試験操業

平成24年6月下旬から放射性物質の値が低い海域・魚種の試験的な操業・販売を開始。放射性物質の問題も抱えながら、試験操業の業種が増加するなど、着実に再興に向かっていく。

対象魚種	平成24年5月29日	3種類	着実な 拡大
	平成27年6月30日	64種類	

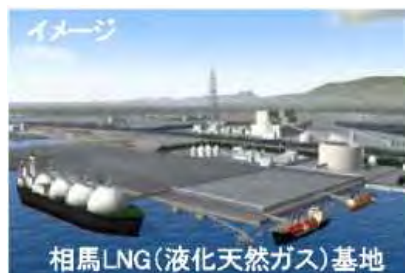


相馬福島道路が開通すれば...

- ・トラックでの輸送範囲が広がり、福島県内陸部や山形県や関東方面への販路が拡大される。
- ・本操業への移行時の出荷状況に与える影響大

3. 相馬港の復旧・整備

取扱貨物量の増大や船舶の大型化等に対応するため、国と県で連携し、防波堤・岸壁・泊地・道路等の整備、ふ頭の埋立造成等を実施。4号ふ頭予定地には、石油資源開発株式会社により、LNG基地が整備される予定。平成30年の運転開始目標。



2. 企業誘致の促進

<ふくしま産業復興企業立地支援事業>

県内に工場等を新設又は増設する企業を支援し、生産規模の拡大と雇用を創出。
 県北地方・・・75件
 相双地方・・・53件

※平成27年3月現在



指定企業数 (累計)	平成24年度	平成27年3月現在
	291件	433件

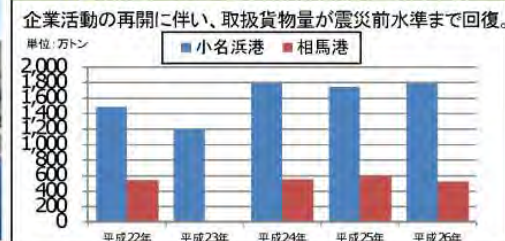
4,987人の
雇用創出見込み

⇒工場の新設増が急増している。
 さらに相馬福島道路の開通に伴い、更なる立地促進が進めば、
 相双地方の雇用拡大へ！

福島県企業立地課職員の声

- ・企業誘致にあたり、交通網の充実は大きな武器。
- ・相馬福島道路の整備により、相馬～福島～米沢での誘致の幅が広がる。
- ・通行料が無料であることも大きなPRポイントである。

小名浜港・相馬港の取扱貨物量の推移



【政策③】 観光拠点間の安定移動確保により、観光振興支援

■相馬福島道路が開通することにより、県北地方と相双地方の観光拠点が安定した移動が確保されることから、移動時間が短縮されることにより、新たな周遊ルートが構築される。

■全線開通した常磐自動車道と県内交通の主要軸である東北自動車道が相馬福島道路で結ばれることから、それぞれの高速道路を利用して来県した県外観光客の浜通り⇄中通りの往来がスムーズになり、県外からの集客効果を見込むことができる。



【政策④】最先端の医療・研究拠点整備

■相馬福島道路の開通に伴い、相双医療圏北部の沿岸3市町から第三次救急医療施設である福島県立医科大学付属病院への搬送時間が短縮され、安定搬送が可能になる。

■平成28年度にふくしま国際医療科学センターが全面稼働するなど、福島市における最先端の医療・研究拠点が整備される中、相馬福島道路が開通することにより、沿岸部の医療サービスの向上に繋がる。

ふくしま国際医療科学センター 〈平成28年度全面稼働〉



【5つの機能】

- ①放射線医学県民健康管理センター
- ②先端臨床研究センター
- ③先端診療部門
- ④教育・人材育成部門
- ⑤医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター
→治療薬・診断薬の開発と産官学共同研究

相馬福島道路整備後は
60分圏域となる
(整備前:約80分)

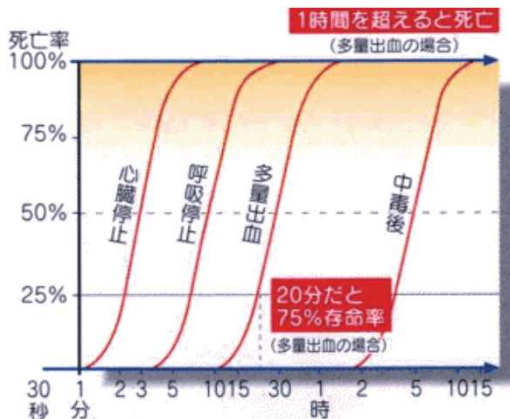
仙台方面
・仙台市立病院
・国立病院仙台医療センター
・東北大学付属病院



相双沿岸部
・新地町
・相馬市
・南相馬市

いわき方面
・磐城共立病院

※相馬市役所～福島県立医科大学付属病院間の所要時間



＜救急事態における経過時間
と死亡率の関係(カラー曲線)＞

60分圏域の拡大により、相双沿岸
3市町の救急救命率の向上に！

【政策⑤】 相馬福島道路と連携した道路ネットワーク強化

■復興支援道路『相馬福島道路』の整備効果を最大限に発揮するため、周辺アクセス道の要対策箇所(幅員狭小、混雑等)において県事業を展開中。



復興支援道路 (国道115号)

相馬福島道路の早期開通

『相馬の声を届けよう』



開通目標に遅れることなく一日も早い開通を!!

[相馬市]

【相馬地方は困っています】

国道115号の線形不良、事故多発、災害通行規制、度重なる通行止め



- 国道115号は相馬市と福島市を結ぶ重要な路線ですが、**線形不良区間が多く、事故が多発**しています。
- 大型車両の通行が困難**な状況であり、海上コンテナ車両等が通行できません。
(相馬市側 R=25m、最急勾配8.4%)
- 豪雨、土砂災害**などの通行規制区間があり、**通行止めが多く、冬季の降雪時はスタック車両**などにより国道が利用出来なくなってしまう。(災害等で過去10年で13回の通行止め、冬期間においては、H26で4回/年通行止め)
- 国道115号が通行止めになると**相馬市玉野地区の集落が孤立**してしまいます。

▼線形不良箇所R=25m(最急勾配8.4%)



▼交通事故発生等による通行止め



▼落石災害発生(H18)約1ヶ月全止



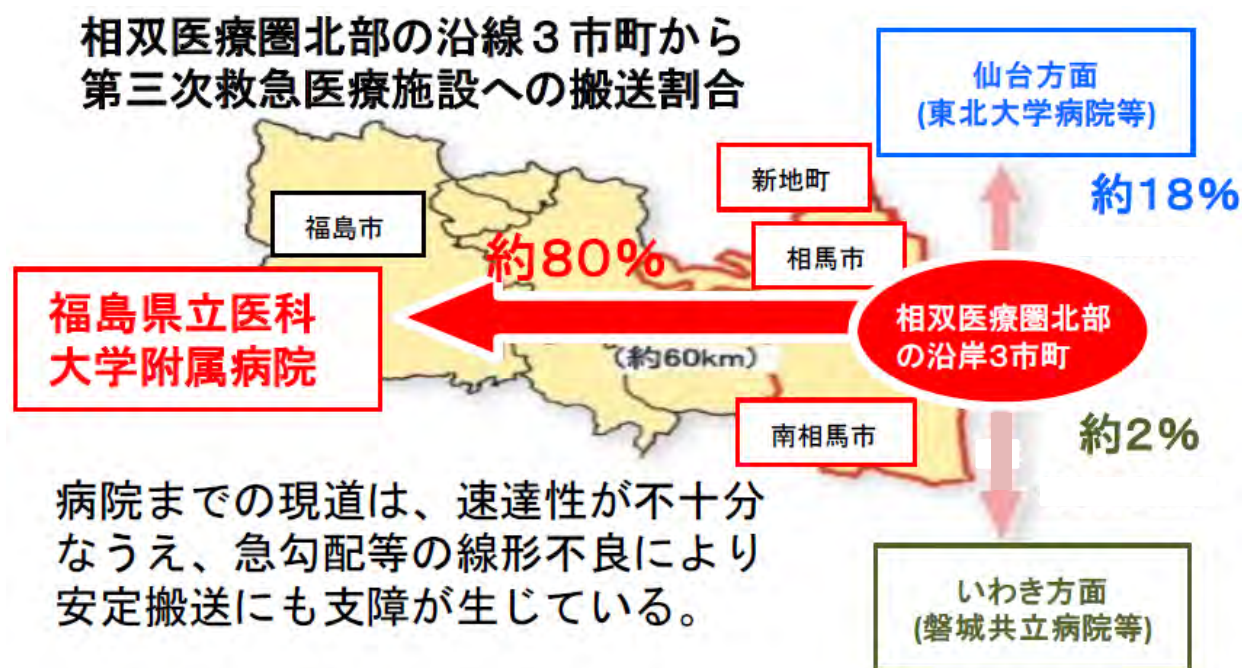
▼緊急輸送道路としての利用



【相馬福島道路の活用(暮らし:医療・福祉)】

迅速かつ安定的な救急搬送が可能となる「命の道」の早期開通を!!

- 相馬福島道路の開通は、相馬市から福島県立医科大学付属病院や、隣接して整備中の福島の復興に向けた医療の拠点である「ふくしま国際医療科学センター」(H28稼動予定)へ迅速かつ安全に救急搬送が可能となり、患者の負担軽減が期待されます。



沿岸地域(相馬市役所)～福島県立医科大学付属病院間の所要時間の短縮

整備前約80分 ⇒ 整備後約59分 約21分の短縮

安定的な緊急搬送支援と、減速・加速による患者への負担の低減が期待される

(相馬地方
広域消防本部)
相馬消防署
署長
佐々木 久人



- ・相双医療圏北部の三次救急医療は、県立医大病院が担うこととなったが、現道では速達性が不十分なうえ、線形不良により、安定搬送に支障があります。
- ・国道115号は、急勾配で線形不良道幅も狭く、緊急走行では安定した走行が出来ず、患者の症状が悪化したケースもあります。
- ・冬期間は凍結箇所も多く緊急走行に支障になっているばかりでなく、一般車両の事故発生率も高くなっています。
- ・迅速かつ安定的な救急搬送が可能となる相馬福島道路の一日も早い開通を望みます。

【相馬福島道路の活用(暮らし:利便性向上・人口流出低減)】

相馬～福島間の通行規制・通行障害の解消と、
地域住民が安全に安心して暮らせる生活環境を確保を!!

- 相馬市街地から、山地部の相馬市玉野地区を経て、福島市方面への通行車両の定時制、安全性が向上し、買い物や通院、救急医療など、生活の利便性が向上します。
- 相馬～福島間の、通勤や通学可能範囲が拡大し、人口流出が低減され、就業機会も増加します。
- 通行規制などで、相馬市街地への通路が遮断されていた相馬市玉野地区の孤立が回避され、生活の安全・安心が確保されます。



(相馬市区長会)

玉野地区
第4行政区長
伊藤 一郎



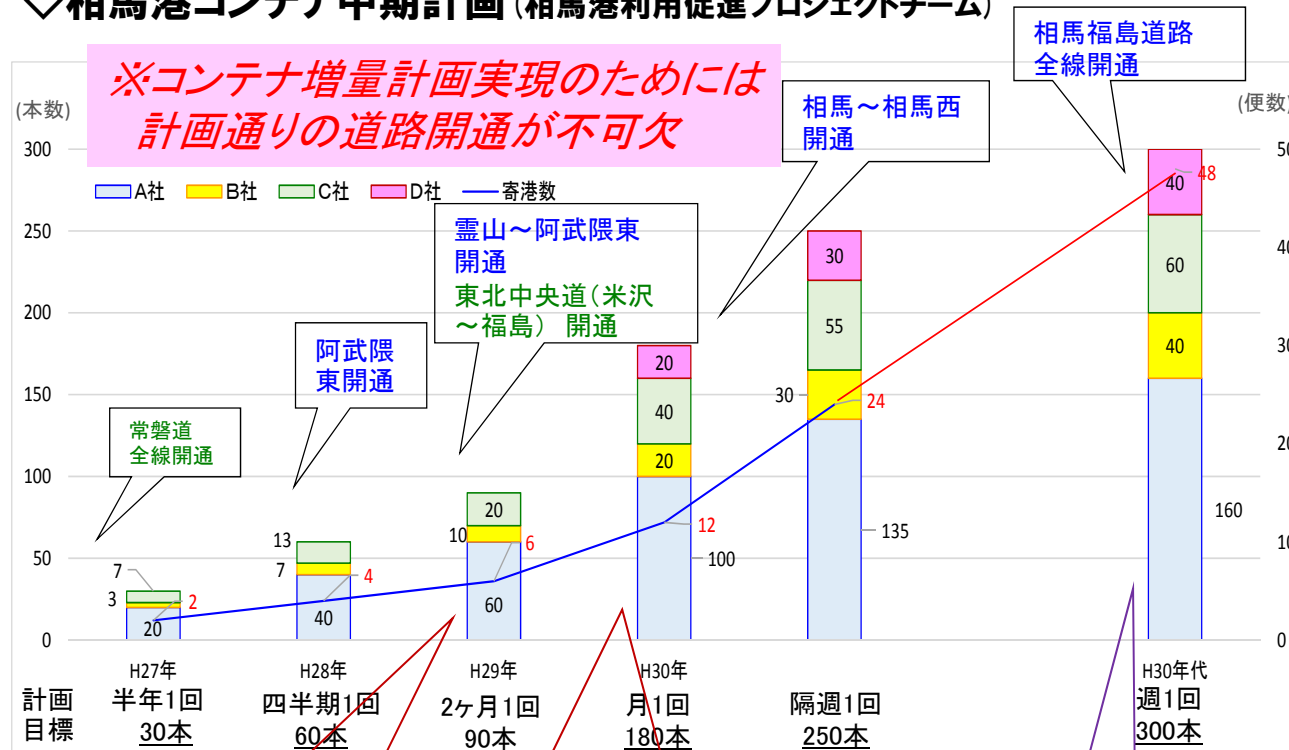
- ・玉野地区住民は、相馬市街地へ通勤・通学し、病院や福祉施設にも通っています。
- ・豪雨時や豪雪時などは、国道115号が通行止めとなることが多く、相馬市街地と行き来することができなくなり集落が孤立することがあります。
- ・相馬福島道路が開通すると、通勤や買い物などの生活が便利になり、家族が安心して地元で暮らせるようになるため、一日も早い開通を望みます。

【相馬福島道路の活用(産業振興:港湾の利用促進)】

(重要港湾)相馬港からの物流圏域を拡大し、相馬港の利用を促進します

- 線形不良や幅員狭小の解消により、福島内陸及び山形県内陸部からの相馬港を利用したコンテナによる物流ルートが確保され相馬港の利用が促進します。
- 現在の石炭取扱いに加えて、海上コンテナの取り扱いが大幅に増加し、南東北の海の玄関口として物流拠点となり物流の効率化が促進されます。

◇相馬港コンテナ中期計画 (相馬港利用促進プロジェクトチーム)



・相馬共同自家発開発
H29年12月操業開始予定
石炭火力発電
(石炭、バイオマス)

・石油資源開発H30年3月操業開始予定
LNG受入基地(天然ガス)
・オリックスH30年操業開始予定
石炭火力発電(石炭、バイオマス)

・コンテナ航路
開設時目標
週1便@7本

(福島県相馬港利用促進協議会)

日本通運(株)相馬海運支店

支店長 佐藤 正一

相馬港湾運送(株)

代表取締役 立谷 幸雄

- ・H27年度は、不定期航路になる前と同等の取扱量30本/年への復活を目指し、荷主企業に対し、助成制度のほか道路整備状況や開通予定を紹介することで、今まで以上に効果的なポートセールが可能となり、新たな利用企業の発掘を進めます。
- ・H30年LNG基地操業開始により天然ガスや冷熱を利用した企業誘致や相馬福島道路の開通に伴う新たな企業の利用が期待されます。
- ・相馬福島道路の全線開通後のH30年代には、更なる相馬港利用企業の増加を見込み、コンテナ航路開設時目標である週1便及び取扱い本数300本/年を目指しており、計画通りに、一日も早く開通するよう期待しています。

【相馬福島道路の活用(産業振興:港湾の利用促進)】

貨物が集積する福島内陸部からの相馬港の利用を拡大します

- 貨物が集積する福島内陸部からの最寄り港湾は相馬港ですが、多数が京浜港を利用しており、産業面において内陸部と沿岸部の連携が十分となっていません。
- 相馬福島道路が開通すれば、相馬港を利用したいという企業のニーズがあるため、相馬港を利用しやすい環境に整備し、福島内陸部の企業活動に貢献するとともに、内陸部と相双浜通りの産業交流を促進します。

現在、船積の場合は仙台港を利用（海外輸出）しているが、福島市内の工場から仙台港までの輸送に3日を要している。
 (1日走行、3時間制約
 ・ ・ ・ 約400万円/回)
 今後、輸送コスト削減のため、相馬福島道路開通後の相馬港の利用を検討しています。

福島市 K社 (鋼構造物業)



京浜港の利用が8割

資料: 全国輸出入コンテナ貨物流動調査

京浜港(東京・横浜)

福島・米沢発着のコンテナ貨物の利用港湾



(写真) 上: 鉄道車両製作の様子
 下: 輸送状況

【相馬福島道路の活用(産業振興:企業誘致・流通・雇用)】

相馬の地場産品や工場製品の流通エリアを拡大し、企業参入を促進

- 相馬中核工業団地などへの企業誘致を積極的に進め、雇用を促進します。
- 液化天然ガス燃料基地、再生可能エネルギー技術の活用などにより、新たな産業の創生を図り、相馬地域の産業・経済の再生を目指します。
- 相馬地方の地場産品や工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、企業の増加や地元企業の売上が向上し、従業員の所得向上等が期待できます。

[建設予定地:相馬港4号埠頭地区]

[相馬LNG基地完成予想図]

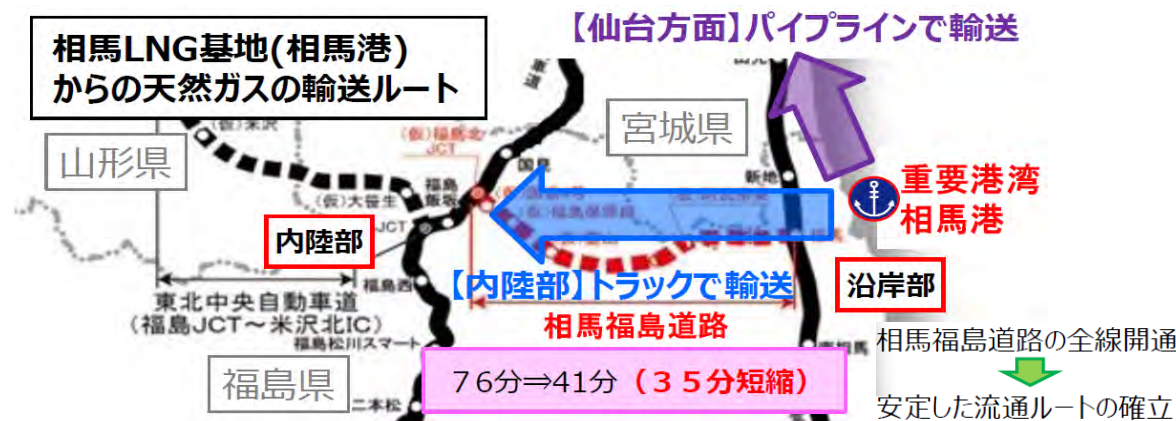


(相馬中核工業団地
企業誘致促進協議会)
会長



相馬商工会議所
会頭 新妻 良一

- ・平成30年3月に操業開始する相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
- ・相馬福島道路の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、新規企業の参入、企業の設備投資の増加、販売額の増加、従業員の所得向上、雇用の促進等が見込まれ、相馬地域の地方創生に大きく寄与するものと期待しているところであり、一日も早い開通を望みます。

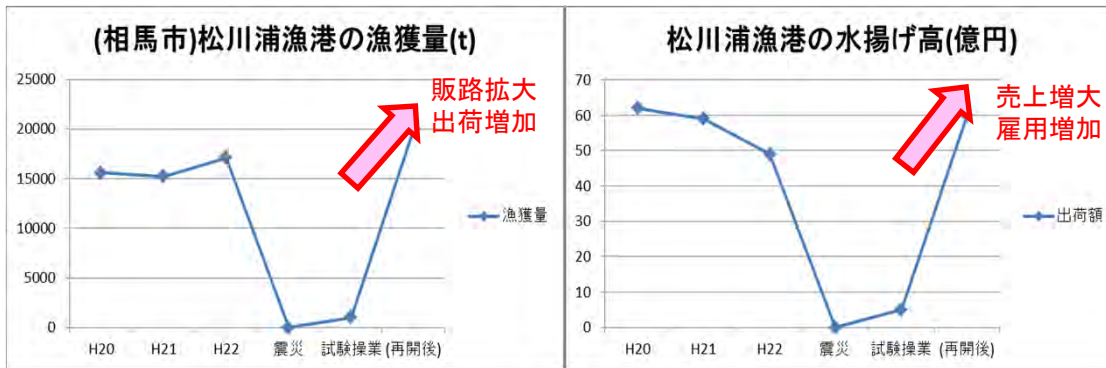


H30相馬LNG操業開始、企業誘致に相馬福島道路の開通が不可欠

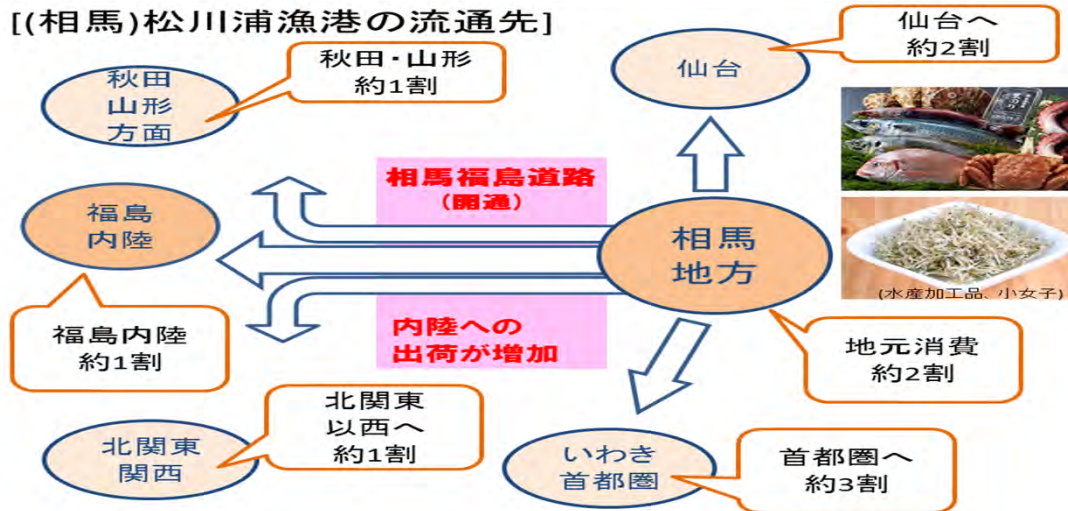
【相馬福島道路の活用(産業振興:漁業)】

相馬地方の地場産業である漁業の復活・再生と販路拡大を促進

- 津波災害や原発事故による漁獲制限、風評被害により、福島県浜通りの漁業は壊滅的なダメージを受けましたが福島随一の近海水揚げを誇る相馬地方の漁業を復活・再生させます。
- 消費地域の拡大による漁獲量の増加と、加工産業等販売エリアの拡大により、漁業従事者の雇用環境の改善と後継者の育成を促進します。



[(相馬)松川浦漁港の流通先]



※本操業の開始前には、相馬福島道路の開通が不可欠

相馬双葉漁業協同組合

代表理事(組合長)
佐藤 弘行

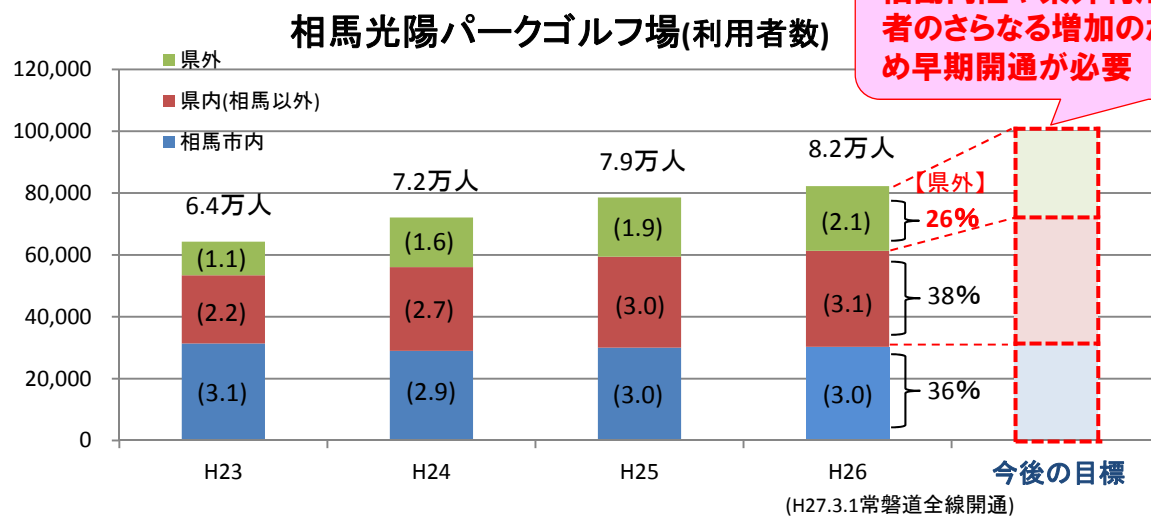


- ・現在は試験操業中ですが、震災前、相馬市松川浦漁港の鮮魚の消費割合は、地場消費が約2割で、相馬市外への出荷が約8割です。北は仙台方面、南はいわき、首都圏方面、一部福島県内陸部や山形方面にも出荷しておりました。
- ・常磐道の全線開通により首都圏への出荷量の増加が見込まれていますが、**相馬福島道路が開通すれば**、これまで以上に、**トラック輸送が容易となるため**、**福島県内陸部や山形方面、関東方面への販路拡大が見込まれ**、**本操業に移行した際の出荷に大きく弾みがつくもの**であり、本操業開始前の早期開通を期待しているところです。

【相馬福島道路の活用(観光振興)】

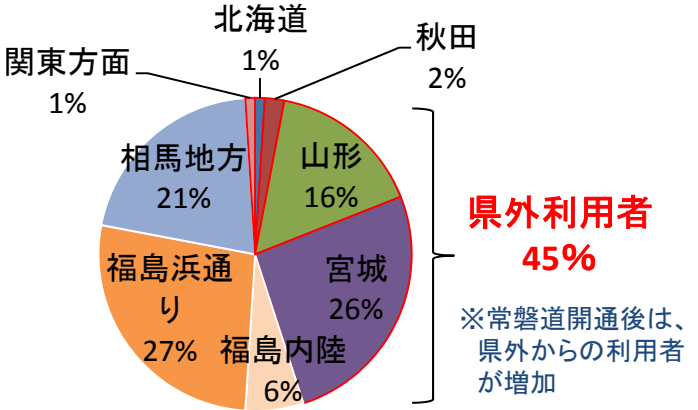
東日本大震災により被災した、名勝松川浦の再生と、 スポーツ観光振興により、相馬地方の創生を目指す

- 美しい自然と温暖な気候に恵まれた相馬地方は、松川浦県立自然公園や相馬野馬追や相馬民謡など豊富な観光資源があり、観光窓口として、「相馬観光復興御案内処」を設置し、観光情報の提供や宿泊所の調整などワンストップサービスで提供するなど、観光振興を促進します。
- 相馬市ではスポーツ交流人口の拡大を目指した取り組みを促進しており、パークゴルフ場、サッカー場、ソフトボール場、全天候型の相馬こどもドームなどの施設を整え、各種大会や合宿等のイベントを企画して、交流人口の拡大を促進します。



福島内陸や県外利用者のさらなる増加のため早期開通が必要

常磐道全線開通記念パークゴルフ大会
参加者(約300名)地域別 (H27.3.15)



(相馬市スポーツ交流促進協議会)
NPO法人
光陽パークゴルフ
専務理事
門馬 善治郎



- ・パークゴルフ場の利用者は、常磐道の開通などによって、県外からの利用者が増えつつあります。
- ・さらに、相馬福島道路の開通により、福島内陸や山形・北陸方面などの県外の利用者の増加を見込んでいるため早期の開通を望みます。
- ・各種大会参加者や、冬季の利用者確保のため、様々なイベントを企画して、スポーツ交流を促進し相馬地方の観光振興を進めていきます。

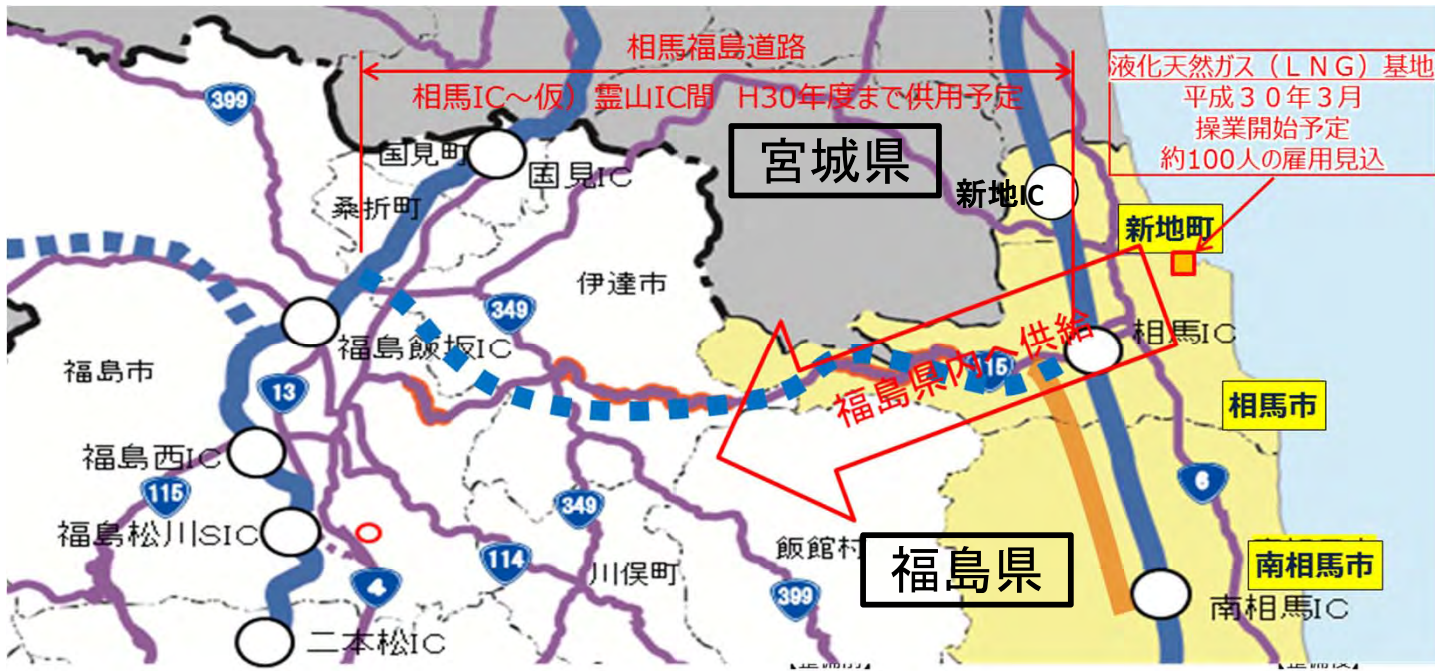
被災地の復興を支援し、「地方創生」に資する『相馬福島道路』は、確実に整備を促進し、開通目標に遅れることなく一日も早い開通を望む



【高速道路建設促進相馬協議会】

相馬市役所	相馬市観光協会	相馬市総合建設業組合	東邦銀行(相馬支店)
相馬市議会	相馬青年会議所	相馬地区管工事組合	大東銀行(相馬支店)
相馬商工会議所	相馬市連合商栄会	相馬市舗装業組合	福島銀行(相馬支店)
そうま農業協同組合	相馬市区長会	相馬地区電設業組合	相双五城信用組合
相馬双葉漁業協同組合	相馬市女性団体連絡会	七十七銀行(相馬支店)	あぶくま信用金庫(相馬支店)

- ◆相馬港（新地町）に立地するLNG基地（H30操業予定）は宮城県、福島県への供給基地となる。
- ◆県内の輸送にはタンクローリーで出荷予定、中通り方面へのアクセスに相馬福島道路が必要。



新地町のLNG基地 関連企業集積へ 復興の一助目指し起工式

新地町の相馬港4号埠頭に液化天然ガス（LNG）基地を建設する石油資源開発は、基地の完成に向け周辺に工場を誘致する。

同社は、LNGが常用を想定している。周囲の天然ガスに戻る際に立地する企業も合に周囲から大量の熱を奪って発生する「冷熱」や、発電所の排熱を利用する企業の集積を目的としている。

LNG基地と、基地に隣接して建設を計画している火力発電所でそれぞれ百人程度の探

石油資源開発の渡辺修社長は十三日、基地の起工式に先立ち記者会見を開き、「復興の役に立てればこの上ない喜び。県関係者とスクラムを組んでいき

LNG基地が建設される相馬港4号埠頭

H26.11.14福島民報

- ### 相馬LNG受入基地の概要
- ◆設備概要：LNG貯蔵タンク1基（23万kl）、LNG外航船受け入バス、LNG内航出荷バス（LNG内航船受入兼用）、LNG気化器2基、帰化ガス用熱量調整設備、LNGタンクローリー出荷設備、ほか
 - ◆接続パイプライン：
 - ・ルート、距離：福島県新地町～宮城県岩沼市、約40km
 - ・仕様：口径20B（20インチ）、設計圧力7MPa（メガパスカル）
 - ◆施設完成：2017（平成29）年12月（予定）
操業開始：2018（平成30）年3月（予定）
 - ◆投資金額、等
 - ・相馬港受入基地、接続パイプラインの建設合計：約600億円
 - ・資金調達：自己資金、借入
- （出典：JAPEX資料）

<建設予定地（福島県相馬郡新地町 相馬港4号埠頭地区）>



<完成予想概念図>



◆LNG基地をはじめとする相馬港の物流拠点の開発は、新地町の震災復興の推進、雇用創出に大いに期待。内陸部とのアクセス性向上のため「復興支援道路 相馬福島道路」の早期完成が必要不可欠

- 伊達市霊山地域は観光資源が豊富であり、市内4つのインターチェンジのうち2つは霊山地域に設置される
- (仮)霊山IC部には「道の駅」の整備を進めており、観光情報の発信及び市民の地域交流の場としての役割を担う
- 道の駅やインターチェンジを拠点とした観光ルートを整備し、観光交流人口の拡大を図る

【伊達市「道の駅」コンセプト】 ※平成29年度オープン予定

～伊達市らしさが息づく交流と発信の場～

1. 伊達市の総合案内をする道の駅
 - ◇ 道路交通情報、観光情報の提供
2. 独立採算でき持続可能な地域発展を目指す道の駅
 - ◇ 産地直売所や農家レストランの開設、地元加工品の開発
3. 震災からの復興と地域振興策を支援する道の駅
 - ◇ 放射線情報の提供、地域のイベント広場
4. 地域防災と災害時の支援活動の拠点としての道の駅
 - ◇ 緊急時の避難所、物資提供や活動支援の拠点



霊山は歴史の宝庫!

国の史跡名勝及び県立公園に指定されている霊山は、平安初期に慈覚大師により開山し霊山寺を建立、以来480余年南奥文化の中心として栄えた。南北朝期には、南朝の忠臣北畠顕家が義良天皇を奉じて陸奥の国府を霊山城に移したが、1347年北朝との激しい戦いの末落城、建物群は全て焼失したと言われる。現在は、山上の処々に建物の礎石が群をなして残り、当時の名残を留めているほか、霊山寺は大石地区に再建されている。霊山神社には、顕家の武運長久を祈る剣舞(濫觴武楽 らんじょうぶがく)が奉納されている。



～平成26年度 観光地点等入込客数状況調査～ 資料：伊達市商工観光課

観光地点等(霊山以外)	入込客数	観光地点等(霊山)	入込客数
やなぎわ希望の森公園	49,998	霊山	59,334
妻岩山	2,325	霊山神社	
伊達市伊達歴史文化資料館	3,845	りょうぜん里山がっこう	6,015
つきだて花工房	59,552	霊山こどもの村	17,266
月見館森林公園	912	りょうぜん紅彩館	11,006
伊達のふる里夏まつり	30,000	パーシモンカントリークラブ	55,686
小手姫の里夏まつり流灯花火大会	2,000	霊山太鼓まつり	40,000
みらい百彩館「んめ〜べ」	269,609		
小計	418,245	小計	189,307
合計		合計	607,552

全入込客数のうち、霊山地域は **3割**、んめ〜べ(直売所)を除けば **5割** を超える。元々入込客数を占める割合が大きく、歴史観光施設が多いことから、今後更に伸びる可能性がある

【期待される効果】

- ・相馬福島道路及びインターチェンジのほか、林道大霊山線(県事業)が整備されることで、**2つのインターチェンジをつなぐ周遊観光ルートを形成できる**
- ・道の駅を整備し、観光拠点とすることで利用者が増加し、**直売所の活性化が図られる**
- ・観光施設の相互連携が図られ、**観光客の増加及び地域の活性化が図られる**








経済の好循環・地域活性化のためには相馬福島道路の早期整備が必要！！

～(仮称)国道4号IC周辺土地利用検討～【桑折町】

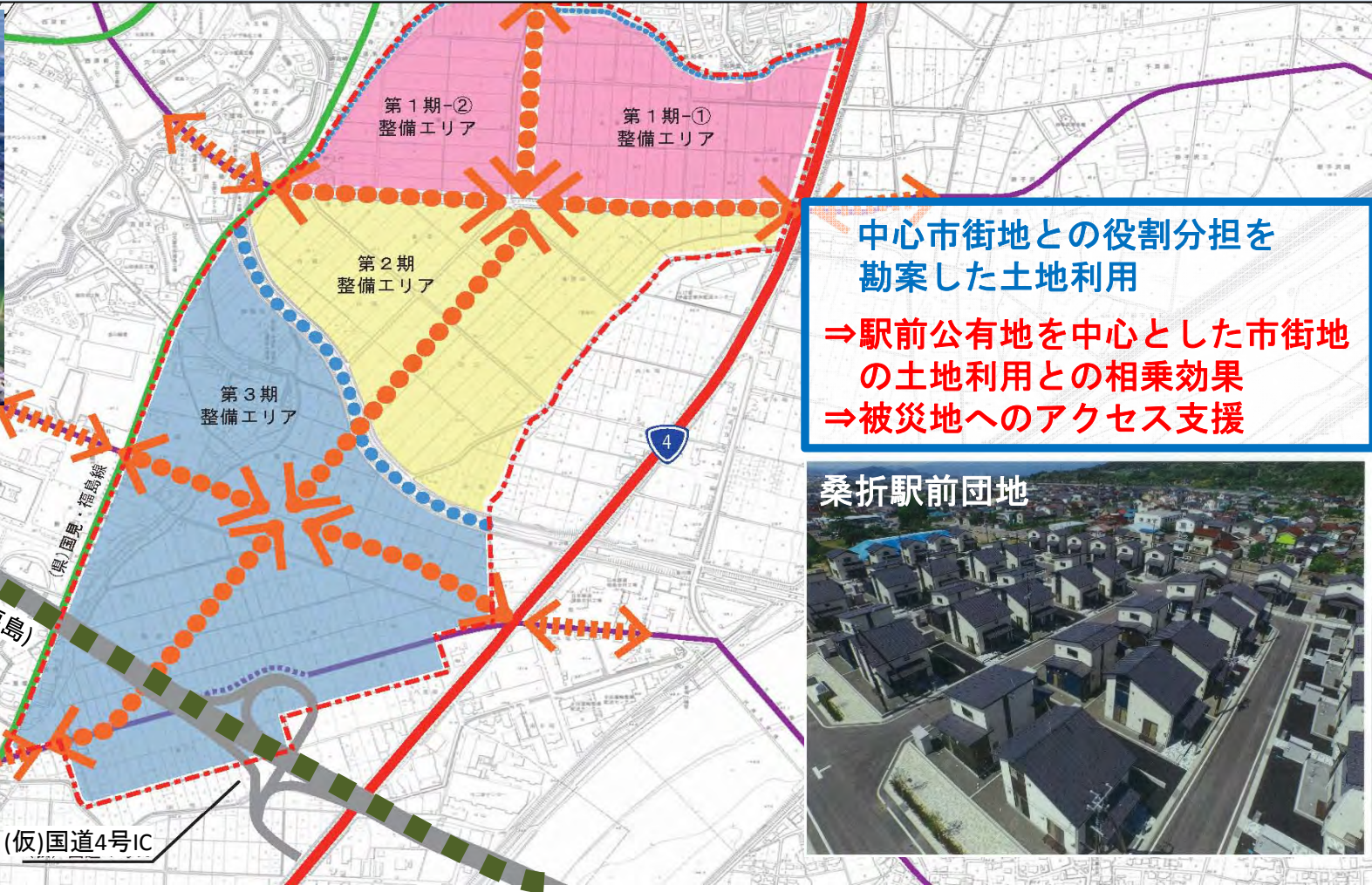
- ◆ H26.9(仮称)国道4号IC周辺開発を盛り込んだ、桑折町都市計画マスタープランを策定
- ◆ 相馬福島道路による広域的な連携の促進及び(仮称)国道4号ICの効果を最大限に活かした土地利用により、復興支援拠点としての機能を目指していく
- ◆ 国道4号の西側沿線地区について、沿道土地利用の促進を図るため、流通業務地としての検討を行い、新たな雇用の創出・人口の流入等、地方創生につなげていく

<凡例>

	: 国道
	: 県道
	: 町道
	: 地区内動線
	: 河川・水路



桑折工業団地



中心市街地との役割分担を
勘案した土地利用

- ⇒ 駅前公有地を中心とした市街地の土地利用との相乗効果
- ⇒ 被災地へのアクセス支援

桑折駅前団地



桑折工業団地との連絡や
新たな工業団地の検討

流通の拠点としての
6次化事業等産業面の活性化

(仮)国道4号IC

相馬福島道路の早期整備により献上桃を全国へ！！

【桑折町】

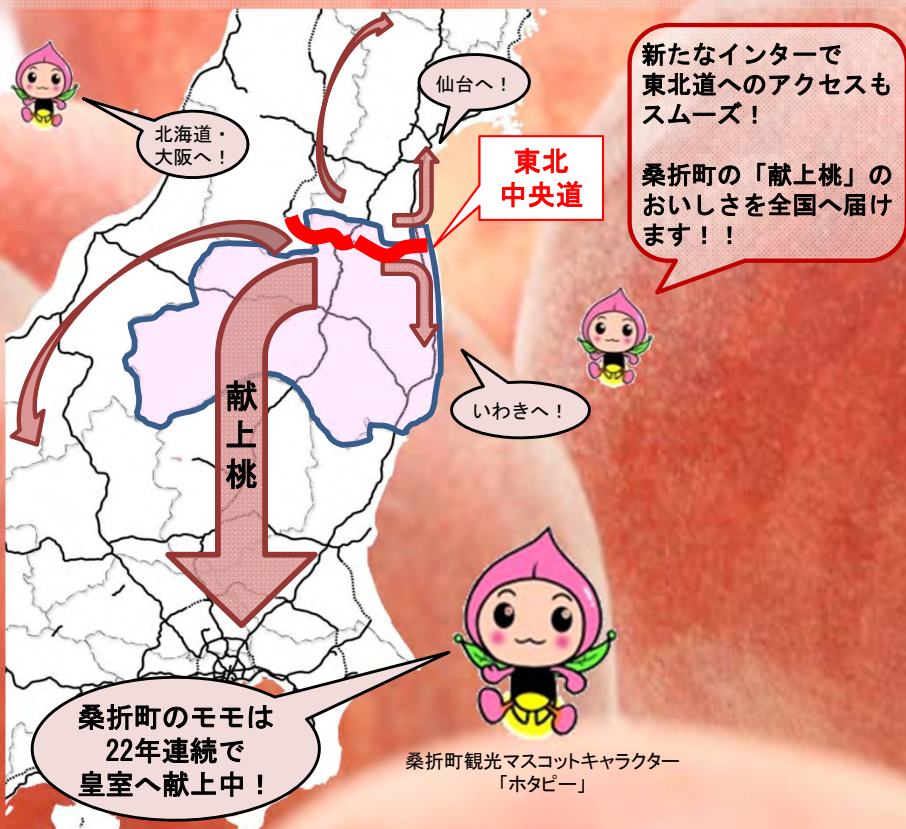
H27.7.16 天皇皇后両陛下
行幸啓で桑折町の桃園をご訪問



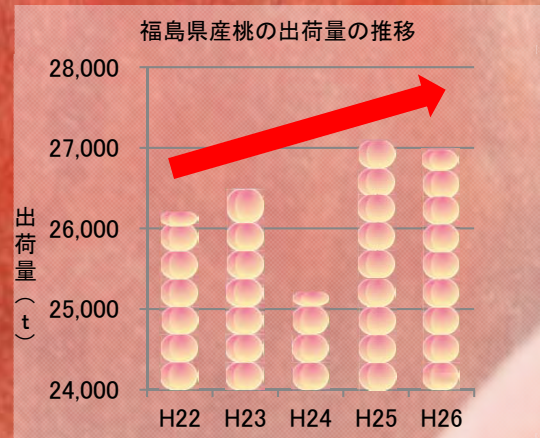
「あかつき」
皇室献上桃



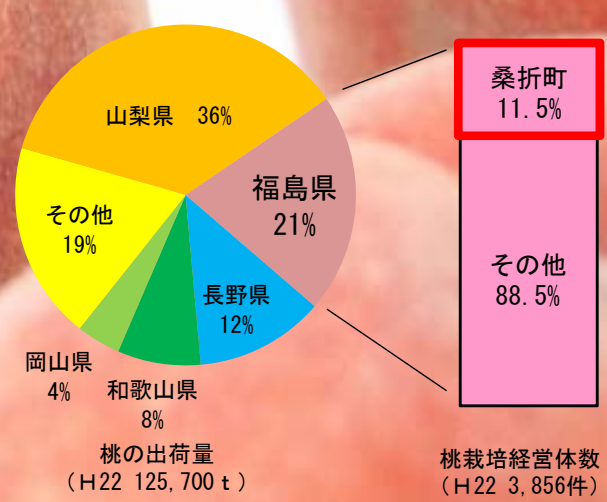
東北中央自動車道(相馬福島道路)の整備により、仙台やいわき及び首都圏等の大消費地や流通拠点への輸送時間が短縮し、鮮度が大幅UP↑
桑折町(こおりまち)は、桃の主力品種「あかつき」を平成6年から22年連続で皇室へ献上していることから「献上桃の郷」として、地域ブランドが定着。
東北中央自動車道による販路拡大で復興を加速！！



福島県の桃の出荷量は震災前より増加



福島県(桑折町の)桃の出荷量



資料：農林水産省「農林水産統計」「2010世界農林業センサス」

【国道115号相馬福島道路】

相馬港利用による安定的な輸送・効率化に活用していきます!

福島市



(写真)
上: 鉄道車両製作の様子
左: 輸送状況



(写真) 福島県相馬港利用促進協議会HP より

現在、船積の場合は仙台港を利用（海外輸出）しているが、福島市内の工場から仙台港までの輸送に3日を要している。
（1日走行 3時間制約 … 約400万円/回）
今後、輸送コスト削減のため、相馬福島道路開通後の相馬港の利用を検討しています。

福島市 K社(鋼構造物業)



相馬福島道路が全線開通すれば、これまで以上にトラック輸送が容易となるため、福島市内の地元企業や誘致企業にヒアリング又はアンケートを行ない、相馬福島道路の優位性の説明や相馬港の利活用提案、ポートセールスを実施していく。

**【内陸部⇄沿岸部】
トラックで輸送**

相馬福島道路の全線開通
↓
安定した流通ルートの確立

【国道115号相馬福島道路】

アクセス向上による「ふくしま観光圏」への集客力UPに活用していきます!

福島市



相馬市・伊達市・福島市・二本松市の4市は、「ふくしま観光圏」を形成し、滞在交流型観光の促進に取り組んでいるが、相馬市・伊達市・福島市を結ぶ国道115号は、幅員の狭さや急カーブ・急勾配が連続し、大型観光バスの走行が困難な区間が存在する。

相馬福島道路・東北中央道が開通すると相馬、福島、米沢等の観光地へのアクセスが向上するとともに、仙台方面等広域的な新たな観光周遊ルートが形成され、観光振興の支援が図られる。

